

遠州三みちフォーラム

●遠州三みち風景街道

遠州地域(静岡県西部)の三本の“みち”(東海道8宿2峠4城下町／太平洋岸自転車道NCR／遠州塩の道)を結び、遠州地域の官民が一体となって「遠州三みち」の新しい価値の創造に取り組む。活動内容 1) 観光・誘客による活性化: サイクルツーリズム・ウォーキングツーリズムの推進、2) 地域間交流の促進: 全国各地の日本風景街道同士の人、モノ(物産)、情報の交流、3) 風景の価値を高める活動: 地域との協働による清掃や美化活動など

◇日時: 令和8年3月13日(金) 13:30~16:00

◇場所: 掛川市美感ホール(掛川市亀の甲1丁目13-7)

◇主催: 静岡県西部地域局、遠州三みち活用ネットワーク

◇内容: 主催者挨拶／静岡県西部地域局 高橋良和 局長
来賓挨拶／浜松河川国道事務所 白井宏明 所長
開催地挨拶／掛川市 石川紀子 副市長
日本風景街道登録証授与／中部地方整備局～遠州三みち活用ネットワーク
基調講演「みちを活かし地域を興す“阿蘇のツーリズム”」
道の駅「阿蘇」 下城 卓也 駅長
パネルディスカッション「三つのみちとその資源を結び、育み、活かし合おう」
掛川市 副市長 石川紀子 法多山尊永寺 住職 大谷純應
自転車冒険家 小口良平 道の駅阿蘇 駅長 下城卓也
遠州三みち活用ネットワーク 座長 田中孝治



フォーラムの翌日3月14日(土)はエクスカージョンを実施。南北に分かれ「南: 遠州三みちコース」「北: 遠州塩の道コース」の2コースでガイド付きサイクリング・ツアーとして催行した。



【講演】みちと地域ならではの資源を活かし、ゆるやかな繋がりを生んだ地域活性化の活動事例を紹介



【パネルディスカッション】東西南北の十字路として、価値観を共有する地域と繋がり取り組むことを宣言



【北】森町の古い街並みから三倉の立体集落を経て、浜松市天竜区へ



【南】松並木の旧東海道、NCRのアクセント潮騒橋、海から始まる塩の道